

2019年3月19日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

栗島浦村との『地方創生に関する災害時の協力に係る連携協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、栗島浦村の安心・安全に貢献するため、栗島浦村（村長：本保 建男）と『地方創生に関する災害時の協力に係る連携協定』を3月19日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・栗島浦村は、小中学生を対象にした離島留学制度の実施、自然体験プログラムをはじめとした環境教育の推進など、地域の活性化を図っております。一方で、栗島浦村は離島であるという特性上、さまざまな自然災害に備える体制を整えることが地方創生を進めるうえで、課題となっています。
- ・損保ジャパン日本興亜は、迅速な保険金のお支払や防災・減災に貢献するため、ドローンを活用した被災情報の収集や、平常時における防災力向上の取組みを、地方自治体と連携して行っています。
- ・損保ジャパン日本興亜は、新潟県におけるトップシェアの損害保険会社として、災害時のドローン活用の実績を活かし栗島浦村の安心・安全に貢献するため、栗島浦村に災害時の協力に関する連携について提案し、このたび協定に至りました。

2. 協定の目的

栗島浦村と損保ジャパン日本興亜は、緊密な相互連携と協力により、災害時にドローンを活用し、地域の安心・安全を図ることを目的とします。

3. 協定の主な内容

以下の項目において業務連携を行います。

- ・ドローンを活用した情報収集

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜は、今後も地方自治体と連携し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することに貢献していきます。

以上